

県庁舎跡地活用検討懇話会（少人数グループ別意見交換）

グループB 結果概要

1 日 時 平成25年2月19日（火）15時00分～17時00分

2 場 所 長崎タクシー会館4階会議室

3 出席者 犬塚委員、菊森委員、菅原委員、馬場委員、福田委員、
本馬委員、村木委員（7名）

4 意見交換結果

○跡地と出島は一体として検討すべき。

- ・土地の持つ歴史性を大事にすべき。（出島の価値を生かして活用）
- ・程よい高さで出島やまち全体を見渡せる視点場が必要。
- ・出島に向かう歩行者動線が必要。
- ・歴史（長崎学）の研究機能を入れてはどうか。

○車ではなく人中心の交通政策を考えるべき。

- ・バスが集中しないようにすべき。（活性化には繋がらない）
- ・駐車場は大型バス用のみとし、マイカーは入れない。

○放っておいても人が集まる仕掛けづくりが必要。

- ・浜の町、まちなかとの連携が重要。
- ・広場の中に歴博にはない世界遺産に特化した施設をつくり、くんちの出し物もできるし、普段はみんなが憩えるような公園的な機能を確保してはどうか。

○未来志向のクリエイティブな場所に。

- ・既存のホールは貸しホール中心であり、創作の場がない。
劇場、創作スペース、宿泊が一緒になった施設（アーティストインレジデンス）をつくり、世界の有名なアーティストが一定期間住んでここで作品を作り、ここから世界に発信するような場所になれば。
（創作の場であれば、貸しホール中心の公会堂とは棲み分け可能）
- ・次の長崎をつくる原動力になるような若い人の育成につながる施設が必要。

○縣市一体のまちづくり、トータルコーディネートの中でこの場所を考えるべき。

- ・県と市がしっかり協力して機能分担を図るべき。(類似のホールを2つ作る必要はない。)

○図書館については、長崎市等から要望があったが、大きな建物をここに建てることには違和感がある。研究機能やサテライト機能を配置する分については可能。